

社会福祉法人 ミッドナイトミッションのぞみ会
理事長 木下 宣世 様

監事 猪狩 友行

監事 足達裕昭

2014（平成26）年度 監事監査報告

監査実施日 2015（平成27）年5月15日（金） 14:00～19:45

監査実施場所 望みの門紫苑荘 多目的ルーム、介護予防センター

対象施設 法人本部及び法人内全施設

監査事項

1 法人本部関係

- (1) 決算書、総勘定元帳、補助簿、その他関係書類
- (2) 定款、諸規程の整備状況
- (3) 人事、労務関係
- (4) 国及び県の指導監査状況
- (5) 理事会関係
- (6) 事業報告書

上記を別添監事監査点検表により確認しました。

2 各施設関係

- (1) 決算書、総勘定元帳、補助簿、その他関係書類
- (2) 事業報告書に基づく事業運営、利用者の状況、職員の人事等

上記(1)を別添自主点検表により確認しました。

上記(2)を施設長からのヒアリングを中心に確認しました。

監査結果

上記監査事項について、2014（平成26）年度の法人、各施設及び事業の運営状況ならびに財産状況を監査した結果、適正であった。

なお、特筆すべき点や気づいた点については次に記すので、今後の運営において留意又は修正を要す事項については対応されたい。

1 運営全般

社会福祉法人ミッドナイトミッショングループはビバリッジの唱えた「ゆりかごから墓場まで」という福祉サービスをすべての年代層で提供する、大きな統合的福祉事業体として成長した。このような事業体は千葉県下でもきわめて希有である。決して恵まれていない福祉環境の中で、昨年度の報告を通じて、各事業部のご努力に深甚の敬意を表したい。

(1) 医療面から、感染症に関しては、昨年度も特養でノロウィルスとインフルエンザの集団発生を見たがいずれも保健所の指導に従い、所内で拡大することなく収束せしめた。

医学的には、ノロウィルスとインフルエンザウイルスもその感染力が強くなり、集団生活の現場での完全な予防は構造的に困難である。よって、昨年度そうしたように、標準的な感染予防法を日頃より徹底し、所内感染時には、速やかに保健所に届け、説明責任を果たして行けばよいと思われる。

(2) 昨年度、職員の入退職は一定程度あったが、とくに労務上のトラブルはなかった。また利用者からの特別なクレームなしに一年過ごせた、そのご努力を評価したい。

(3) 採算意識の向上

本来、福祉事業は非営利事業であり、社会福祉法人も非営利法人と定められている。しかし、一方では私的な法人である限り、赤字経営では存続し得ない。国の現状を見ると、政府の施策は介護保険支出の圧縮、福祉予算の圧縮などを進めている。従って今まで以上にそれぞれの事業体での採算意識、対費用効果を意識してすすめていただきたい。

2 経理関係

(1) 平成27年2月12日付君健福第2753号千葉県君津健康福祉センター長の「平成26年度社会福祉法人等指導監査等の結果について（通知）」における指導項目（貸借対照表の前年度末残高について）の指摘は会計ソフトから誘導された合計表に生じた相違であると思われます。今後も十分なチェックをされるようお願ひいたします。

(2) 会計処理は本部及び各施設等の会計単位ごとに担当者が金銭出納帳に記録し、現金残高を金種別表により管理がされ、また領収書等は仕訳伝票に添付する方法によって適正に保管されています。金種別現金残高表は担当者がその都度記入し、月末に一度責任者（施設長）が確認押印していますが、少なくとも1週間に一度は確認するよう努力してください。

(3) 法人本部の土地建物等の購入に当たり君津信用組合からの借入および各施設等からの借入又は繰入により賄われていることを確認しました。

(4) 各銀行の預金残高および貸付金残高証明書により預金残高および借入金残高を確認しました。

(5) 寄付金の授受は受取書控えにより確認しました。寄付者には所得税法又は法人税法の寄付金控除の対象となる旨の説明書等も添付されて領収書を発行していることも確認しました。

3 各施設関係

(1) 児童福祉サービス、乳児院「望みの門方舟乳児園」、児童養護施設「望みの門かづさの里」とも県の期待に応える事業を進めていることを報告された。今後も児童福祉の必要性は高いので、採算性も意識しつつすすめていただく事を期待する。

- (2) 婦人あるいは成人福祉サービス、「望みの門学園」と「望みの門ヨカデイサービスセンター」があるが、望みの門学園の稼働率が下がっている。県の施設への措置が減少するという構造問題を抱えている。県で唯一の婦人保護施設としての事業を継続しつつ、その定員を減少させ、その余力を精神障害者の自立支援や、生活困窮者自立支援事業への転換を図ることは出来ないだろうか。
- (3) 介護保険サービス、あるいは老人福祉事業、養護老人ホームである「望みの門楽生園」の稼働率が低下している。これも市行政の入所措置減少に基づくもので、今後もこの傾向は避けられない。よって、楽生園の事業転換を視野に入れた計画を開始する必要があるだろう。特別養護老人ホームの2施設は、介護保険支払いの圧縮の影響を受けているが今後もサービス向上に努めて、一体となって採算の向上に腐心いただきたい。
- (4) 在宅サービス、すなわち通所介護、居宅支援、訪問介護、訪問看護いずれも、今後国がすすめようとしている地域包括ケアシステムに積極的に組み込まれる必要がある。
近隣の同様の事業体、病院、診療所などの医療保険施設に積極的に営業的な姿勢で、事業体のサービスをアピールする必要がある。とくに訪問看護は、医師の指示書がなければ進まないのであるから、今後出現するであろう、ライバル事業体に取られないためにも、今から連携に向けて積極的に動かなければならない。
具体的には、回復期リハビリ病棟退院者は、退院後介護保険サービスを利用するのであるから、地域の回復期病棟との連携をすすめたい。
昨年度から、民営化された富津市の地域包括支援事業を引き受けた。地域包括支援センターは、国のすすめる地域包括ケアシステムの中心となる役割を担っている。その割には地域包括ケアシステムに関しての情報収集が不足しているのではないか。先行の支援センターや他事業体との連携を深めて、経営戦略をつくるべきである。

監 事 監 査 点 檢 表

項目	監査事項	点検欄	備考
定 款	定款が定款準則に準拠しているか。	適	
	定款に記載されていない事業を行っていないか。	適	
	定款変更は、所定の手続きを経て行っているか。	適	
役 員	役員の、選出手続きが定款の定めに従い行われているか。	適	
	選任関係書類が整備されているか。 (理事会議事録、就任承諾書、履歴書)	適	
	実際に法人運営に参画できない者が名目的に選任されていないか。	適	
理 事	各理事について、親族等の特殊な関係のある者が定款の定める数を超えて選任されていないか。 (当該役員が役員となっている会社の使用人等を含む。)	適	
	理事の4分の1以上が社会福祉事業について知識経験を有しているか。	適	
	地域の代表者が参加しているか。 (町内会、婦人会等の役員、民生委員・児童委員)	適	
理事長	各理事の意見を尊重し、理事会の決定に従って法人運営及び事業経営を行っているか。	適	
理事会	予算及び決算のための理事会のほか、理事会の議決を要する事項がある場合、その他事業運営の実態に即して、理事会が開催されているか。	適	
	議決が定款の定めにしたがって、有効に成立しているか。	適	
	理事会の要決議事項について審議され、議決されているか。 (予算・決算・重要人事案件・主要契約等)	適	
	議事録が正確に記録され保存されているか。 (議案に対する発言内容・配布資料等含む)	適	

人事管理	施設職員の任免について、任免が適切であるか。	適	
職員処遇	勤務時間、休日・有給休暇簿が労働基準法、就業規則に則して適正に行われているか、また、みだりに処分が行われていないか。	適	
資産管理	定款に記載されている基本財産について、みだりに処分、貸与、担保されていないか。	適	
会計処理	現金支払いは領収書があるか、1回に多額現金支払い及び特定の者に頻繁に現金支払いがされていないか等。	適	
	会計帳簿が整備され証憑類が保存整理されているか。	適	
決算及び 財務諸表	決算手続きが定款の定めに従い適正に行われているか、また、財産目録、貸借対照表、収支計算書、現金残高金種別表等が整備され、保存されているか。	適	
債権債務 の状況	法人の借入金が事業運営上の必要によりなされたものであるか、また、償還財源が明確にされ、無理のないものとされているか及び、理事会の議決を経て行われているか。	適	
	外部の貸付金が発生している場合、その理由は何か。 (役員個人への貸付を含む)	該当事 例なし	
	当該法人の役員又は親族の経営する会社との取引き状況があるか。 (経営会社 ある・なし)	該当事 例なし	
	物品等購入業者が偏っていいないか、また、購入単価・修繕工事等契約金額は妥当性があるか。	適	
その他	不動産（施設敷地等）を公共団体以外から借用している場合、事業の存続に必要な期間の利用権を設定し、登記がされているか。	該当事 例なし	
	寄付金の設置が適正に行われているか。 (寄付金台帳等の整備)	適	
	運営費の管理、運用については、銀行・郵便局等への預貯金等安全確実でかつ換金性の高いものとなっているか。	適	
	施設の管理が十分に行われ、防災対策等が立てられていると共に、その実地体制が確立されているか。	適	